



アグリ/SDGs2

ジャスモン酸などの植物性生理活性物質ライブラリーの開発・活性評価・提供

No.28

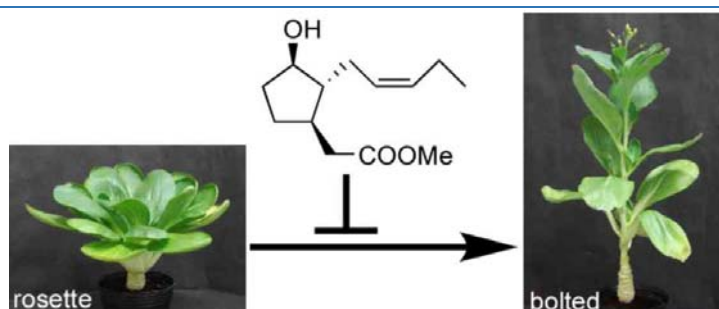
農学生命科学部 分子生命科学科 生命科学コース

准教授 高田 晃(たかだ のぼる)

URL:<http://nature.cc.hirosaki-u.ac.jp/lab/2/biochem/takada/home.html>

技術概要

- 植物の様々な生長現象にかかわる植物ホルモンであるジャスモン酸の構造を改変することで、有用な生理機能を残しつつ、不要な生理機能(副作用)を極限まで減らした誘導体の開発を行っている。
- 「植物の生長調節用組成物及び植物の生長の調節方法」(特開 2020-110130)



想定される活用例

- 有用な活性のみを有する誘導体を用いた農薬(成長調整剤)の開発

相談可能な分野

- 天然物化学、植物生理学に関すること
- 生理活性物質に関する有機機器分析

問合せ先

国立大学法人弘前大学

(産学連携)研究・イノベーション推進機構 E-mail ura@hirosaki-u.ac.jp

(特 許)研究推進部 研究推進課 知的財産担当 Email chizai@hirosaki-u.ac.jp